

# 日立シビックセンターの催し

時…日時 場…場所 対…対象 内…内容 出…出演 定…定員 料…料金 申…申し込み 他…その他

①オペラ衣裳展～ひたち市民オペラセレクション～  
時 1月9日(土)～20日(木) 午前10時～午後5時 場 日立シビックセンター多用途ホール他 内 過去に実施した「ひたち野外オペラ」公演で使用された衣裳を展示します。 料 無料

②アトリウム装飾「迎春」  
時 1月9日(土)～15日(金) 午前9時30分～午後10時 \*最終日は午後3時まで 場 日立シビックセンターアトリウム 内 「迎春」をテーマにした生け花を展示します。協力=錦城古流(日立華道連合会会員) 料 無料

③シビックサロン「ひたちを食べる－発酵食品で健康づくり」  
時 2月14日(日) 午前10時～正午、午後1時～3時  
場 日立シビックセンター料理室 対 高校生以上 内 ひたちの食材を使い、「発酵」について学びます。 講師=原田実能さん(うのしまヴィラ)、小林康昭さん(横川温泉山田屋旅館) 協力=(一社)日立市観光物産協会 料 2,000円  
申 1月7日(木)の午前10時から電話で申し込みを。

④大人のための天文教室「冬の星空と令和3年の主な天文現象」  
時 2月11日(祝) 午前10時30分～正午 場 日立シビックセンター会議室501号 対 高校生以上 内 初心者向けの講座です。講師=増子光昭さん(星空案内人・シビックサイエンススタッフ) 料 500円 申 1月12日(火)の午前10時から電話で申し込みを。

## 《新型コロナウイルス感染症に関する注意事項》

- 茨城県などが定めているガイドラインに基づき、新しい生活様式に合わせた運営に取り組んでおります。
- 「いばらきアマビエちゃん」に登録されたイベントです。
- お客様同士の適切な距離を確保できる座席配置にしています。
- 中止や、定員数・内容を変更する場合があります。

問合せ ①日立シビックセンター音楽ホール TEL 24-7755

②③日立シビックセンター TEL 24-7711

④日立シビックセンター科学館 TEL 24-7731

## ホールの催し(1月)

とき	催し	主催	料金
8日(金)～13日(水)	美術展	県北地区高等学校合同美術展	無料

日立シビックセンター TEL 24-7755 IP 050-5528-4941  
日立シビックセンターギャラリー TEL 24-7711

とき	催し	主催	料金
21日(木)～24日(日)	作品展	県北地区退職教職員の会	無料

## だいすきひたちカレンダー2021ができました！

「あなたの写真がカレンダーに！だいすきひたちフォトコンテスト」で応募があった写真を使用して、2021年のカレンダーを作成しました。

みんなの「だいすきなひたち」がたくさん詰まったカレンダーです！一度お手に取ってみてください。



フォトコンテストの優秀賞3作品などが掲載されています。



応募総数は554点。たくさんのご応募、誠にありがとうございました！

販売場所 日立駅情報交流プラザ ぷらっとひたち  
販売価格 1,200円  
問合せ (一社)日立市観光物産協会 TEL 24-7978

# みんなでつくろう！日立市の新しい総合計画

～日立市のまちづくりや将来像に対する皆さんのご意見をお聞かせください～

問合せ 政策企画課 内線 586



## 総合計画とは？

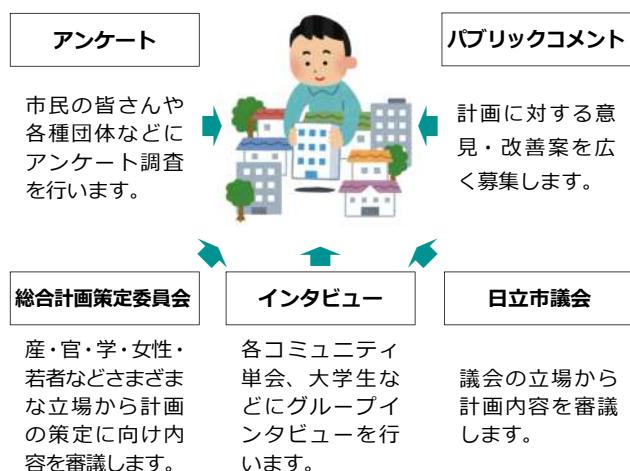
今後、私たちが住む日立市をどのようなまちにしていくのか、そのために誰が、どんなことに取り組んでいくのか。総合計画とは、それらを総合的・体系的にまとめた計画で、福祉や教育、都市基盤、産業など、あらゆる計画の基本となるものです。

市では現在、地域の実情を捉え、本市の特性をいかした新しい計画を策定したいと考えています。

市民の皆さんの貴重なご意見をぜひお聞かせください。

## ～みんなでつくる計画～

計画の策定に当たり、幅広くご意見を聞く機会を設けます。



### 計画期間

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031

基本構想  
策定作業  
基本計画

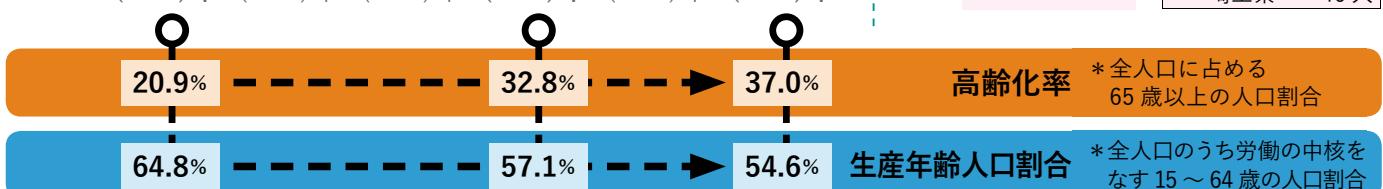
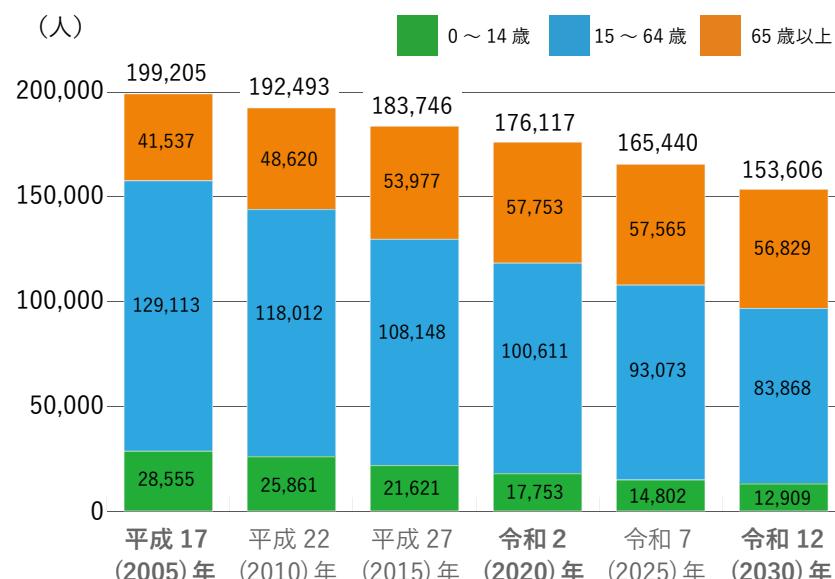
基本構想（令和4年度～令和13年度）

前期基本計画（令和4年度～令和8年度）

後期基本計画（令和9年度～令和13年度）

# 日立市を取り巻く現状と課題

## 日立市の人口推移と将来推計



令和元年

日立市の地域別 転入・転出 超過状況

### 主な転入超過の状況

(県内)

高萩市 +43人

北茨城市 +37人

(県外)

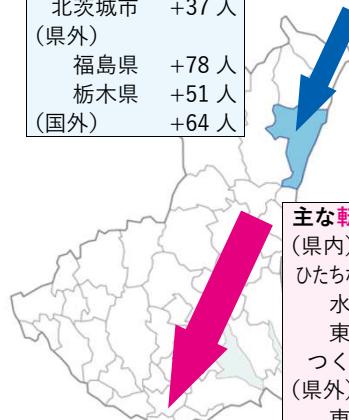
福島県 +78人

栃木県 +51人

(国外) +64人

### 転入超過

(転入 > 転出)



### 主な転出超過の状況

(県内)

ひたちなか市 -342人

水戸市 -197人

東海村 -124人

つくば市 -94人

(県外)

東京都 -352人

神奈川県 -137人

千葉県 -65人

埼玉県 -46人

### 転出超過

(転出 > 転入)

【出典】平成27年までは国勢調査。令和2年からは、平成30年国立社会保障・人口問題研究所推計

### ①地方創生・人口減少対策

- 本格的な人口減少時代を迎える中で、本市においても、転出者数が転入者数を上回り、特に20代から30代までを中心とした若い世代の流出が続いている。その要因の多くは「しごと」や「住まい」を求めることがきっかけとなる傾向にあります。
- 加えて、全国と同様に少子化も加速しており、出生数や0～14歳までの年少人口も減少傾向にあります。
- 市では、これまで若い世代の転出抑制・定住促進を始め、結婚・出産・子育ての支援に積極的に取り組んできましたが、今後も若い世代の方々が、地域に魅力を感じ、地元で仕事を得て家庭を持ちながら、安心して子育てができる、持続可能な地域社会を築いていくことが求められています。

### ②2025年問題への対策

- 本市では、総人口が減少傾向にある中で、65歳以上の老人人口は増え続けており、令和2年の高齢化率は32.8%と、全国(28.9%)及び茨城県(30.1%)を上回っています。
- 今後は一人暮らしの高齢者や、高齢者のみの世帯もさらに増加していくことが見込まれています。
- このような中、団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者となり、市民の3人に1人が高齢者になることに伴い、様々な問題の発生が懸念される、いわゆる「2025年問題」への対策が急務となっています。
- 今後も、住み慣れた地域で、誰もが安心して住み続けられるよう、医療・介護を始め、暮らしを取り巻く生活支援などに積極的に取り組み、明るく活力ある長寿社会を築いていくことが必要となります。

### ③新型コロナウイルス感染症対策

- 「100年に一度の危機」と言われる感染症に対し、本市では、市民の皆様の命と健康、暮らしの安心を守るべく、感染拡大防止を始め、各種の生活支援、事業者の皆様への経済的支援など、適時様々な取組を進めてきました。
- しかし、感染症の拡大は、いわゆる「新しい生活様式」や働き方の変化など、社会や地域生活のあらゆる面に影響を及ぼしています。
- 引き続き感染防止対策を徹底し、市民生活の安全・安心の確保、地域経済の維持を最優先に、各種支援に全力で取り組むとともに、コロナ後の社会である「アフターコロナ」を見据えた今後のまちづくりを考えていく必要があります。

### ④激甚化する自然災害への対応

- 近年、台風を始め、集中豪雨、地震、記録的な猛暑などにより、全国各地で多発している自然災害は、甚大な被害をもたらし、今後ますます激甚化・広域化することが懸念されています。
- 本市においても、令和元年は台風19号の際に市内全域に避難勧告が出されたほか、昨年11月に茨城県沖を震源とする地震が発生し、東海村で震度5弱、本市では震度4を観測しました。
- 東日本大震災の発生から間もなく10年を迎えますが、いつ、いかなる災害にも確実に対応できるよう、引き続き、市民の皆様の安全・安心の確保を第一に、災害への備えをハード・ソフトの両面からしっかりと進める必要があります。

### ⑤デジタル化への対応

- 菅内閣総理大臣は、「行政のデジタル化」に向けた取組を重点政策の一つに掲げています。
- デジタル化時代では、最先端の情報通信技術やデータ活用技術を用いて、新しい仕組みや社会を構築していくことになります。
- 日本の各省庁や自治体は、これまでにも様々な業務をデジタル化してきましたが、コロナ禍において、その遅れが浮き彫りとなっています。
- 本市は、電子マネーを利用した公金収納によるキャッシュレス化を全国に先駆けて推進するなど、行政のデジタル化に積極的に取り組んできましたが、引き続き、市民サービスの向上のため、国が進める安全で利便性の高いデジタル社会の実現を目指す必要があります。

### ⑥脱炭素社会の実現に向けた取組

- 国は、2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする「脱炭素社会の実現」を目指しています。温室効果ガスの影響で、地球の気温が上昇し、台風が大型化するなど、深刻な気候変動にブレーキをかけるためです。
- 本市は、かつて市民と企業との協力により煙害を克服したという誇るべき歴史を有し、豊かな自然を後世に引き継ぐため、自然環境の保全や循環型社会形成など、環境への取組を積極的に進めてきました。
- 脱炭素社会の実現は、二酸化炭素を排出しない水素社会への移行の好機とも考えられており、今後、本市においても、未来を見据える中で、再生可能エネルギーを始め、新たなエネルギー環境の構築などに幅広く取り組んでいく必要があります。

# 皆さんのご意見をお聴かせください

## 1 まちづくりに対する意見・提案

次の6つの分野から、市が取り組むべきまちづくりの具体的な提案を下の記入欄に2つご記入ください。

分野	主な内容		
①福祉・医療	こども福祉 医療体制	高齢者福祉 健康づくり	障害者福祉
②教育・文化	学校教育 青少年育成	生涯学習 生涯スポーツ	文化・芸術 国際化・平和
③産業	工業 農・林・水産業	商業	観光
④都市基盤	市街地整備 河川	道路・公共交通 住宅	公園 上下水道
⑤生活環境	環境保全 消防・救急	ごみ・資源 墓地・葬祭場	防災 防犯・交通安全
⑥協働	コミュニティ活動 広聴広報・相談	産学官連携	男女共同参画 行財政運営

\* 6つの分野に分けられないものは、「その他」とご記入ください。

## 2 これからの日立市がめざすべきまちの姿

日立市の将来像として、あなたが「望む」まちの姿を自由にご提案ください。

### 【記入例】

まちの姿：  
○○をいかした  
まちづくり



### 理由：

日立市は、○○が活発  
であると感じている。  
これから少子高齢化を考えると、○○  
の活性化が大切だと  
考えた。



## のりしろ

## 1 まちづくりに対する意見・提案

### 【記入例】

提案する分野： 福祉・医療 分野

#### 具体的な提案：

○○○○させるため、□□□□を充実させてほしい。

### 提案する分野：

### 分野

#### 具体的な提案：

### 提案する分野：

### 分野

#### 具体的な提案：

## 2 これからの日立市がめざすべきまちの姿

### まちの姿：

### 理由：

住所： 日立市 町 \*町名までご記入ください。

性別： 男・女

年齢： \_\_\_\_ 歳

職業： 自営業、会社員・公務員、パート・アルバイト、

専業主婦（主夫）、学生、無職、

その他（ ）

## のりしろ

1月22日(金)までに投函してください

## 提出方法

次の①～④のいずれかの方法でご回答ください。

- ①郵送 下記の封筒部分を切り取って回答することができます。封筒部分の赤い太線に沿って切り取り、必要事項を書いてから、のり付けし、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください（料金はかかりません）。
- ②WEB スマートフォンなどで右のQRコードを読み取るか日立市のホームページで「新しい総合計画」と検索してください。
- ③Eメール 下記のメールアドレス宛に回答内容を送信してください。  
kikaku@city.hitachi.lg.jp
- ④ファックス 下記の番号宛てに回答内容を送信してください。  
FAX 21-1663



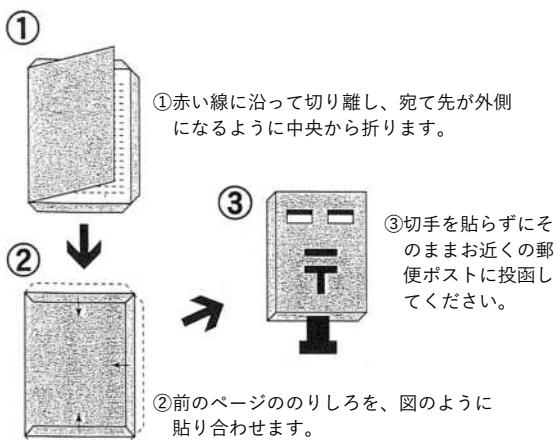
募集期限 1月22日(金)まで

皆さんからのご意見・ご提案を

郵送の場合は、1月22日(金)までに投函してください。どうぞお寄せください。

貼付場所

### ・封筒の作り方・



貼付場所

(ヤマ折り)

3 1 7 8 7 9 0

料金受取人払郵便



差出有効期間  
2021年2月  
28日まで

(切手を貼らずに  
お出しください)

日立市助川町一丁目一番一号  
日立市市長公室 政策企画課  
行

(ヤマ折り)



(ヤマ折り)

12/4 全国高等学校駅伝競走大会に出場する茨城キリスト教学園高等学校の陸上競技部が市長を訪問

## 会心の走りで掴んだ全国切符。都大路での活躍誓う

12月20日に全国高等学校駅伝競走大会に出場する茨城キリスト教学園高等学校の陸上競技部の生徒たちが、4日、小川市長を訪問しました。

茨城キリスト教学園高校の陸上競技部の女子は、11月に行われた茨城県高校駅伝競走大会で、一度も首位を譲らずに優勝し、「女子第32回全国高等学校駅伝競走大会」への出場を決めました。全国大会への出場は、2年ぶり23回目となります。

生徒たちは県大会を振り返り、「タスキを1秒でも速くつなげようと走った」「走る楽しさを感じられた」と話しました。

関山友子監督は「新型コロナの影響で試合が少ない中、部員たちに自主的に取り組む大切さを伝えてきました。県大会ではその成果が発揮で

きました」と振り返りました。

小川市長は「全区間で首位を守り、全国大会出場を決められたことをうれしく思います。都大路でも皆さんの悔いのない走りを期待しています」と激励しました。

11/6 鳩が丘さくら福祉センターにモザイク壁画が完成

**エコ平板を活用し、日立の海とさくらまつりをデザイン**

「エコ平板」とは、建設現場などから廃材として出る石、レンガ、瓦などを細かく碎いてコンクリート平板に貼ったモザイク平板です。

今回、鳩が丘さくら福祉センター（助川町）に完成した壁画の材料の一部は、就労継続支援B型事業所「一想園」（田尻町）で製作されたものです。

エコ平板を活用し、日立の海とさくらまつりをデザインした美しい壁画をぜひご覧ください。



11/8 日立市少年消防クラブ研修会を開催

**消防署の仕事や消防車両を間近に見て防火・防災を学ぶ**

この研修会は将来の地域防災のリーダーを育てることを目的として毎年開催しています。

この日は、河原子少年消防クラブと十王少年消防クラブの合わせて9名が参加し、南部消防署で水難救助車や潜水訓練用のプールなどの車両や施設を見学した後、水陸両用バギーの体験乗車をしました。子どもたちは消防署の仕事や消防車両を間近に見て防火・防災について学ぶことができ、有意義な研修会となりました。



11/16 日立市ジャイアントパンダ誘致推進会議を設立

**ジャイアントパンダ誘致の実現に向けて**

市では、県とともに「かみね動物園」へのジャイアントパンダの誘致に向けた取り組みを推進しています。

その一環として、市民の関心と理解を深め、誘致活動を市全体で盛り上げて行くことを目的に「日立市ジャイアントパンダ誘致推進会議」を設立しました。会長に就任した小川市長は「誘致が実現すれば、県北地区への人の流れが劇的に変わり、賑わいが生まれ市民の大きな誇りになると思います」と挨拶しました。

